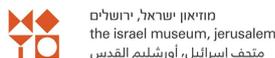




ひらめくアイデア、果てなき表現
— 天才、ピカソ。

イスラエル博物館所蔵 **ひらめきの原点**

Pablo Picasso: Drawing Inspiration
From the Collection of The Israel Museum, Jerusalem



佐川美術館
SAGAWA ART MUSEUM

本展の見どころを CHECK

■イスラエル博物館（エルサレム）ってどんな博物館？

豊富なコレクションから初来日するピカソコレクションをお楽しみに！



イスラエル博物館（エルサレム）エントランス
The Israel Museum, Jerusalem, Entrance
© Timothy Hursley, The Israel Museum, Jerusalem

1965年に設立されたイスラエル博物館は、イスラエルの最も重要な文化施設で、世界有数の博物館の一つです。段丘のように広がる約6万㎡の敷地と建物には、ユダヤの美術・生活および聖地の考古学にまつわる包括的コレクションと、幅広い分野にまたがる充実した美術のコレクションが収蔵・展示されています。また、世界最古の聖書写本「死海文書」を収める「聖書館」の他、イサム・ノグチがデザインしたビリー・ローズ・アート・ガーデンが敷地内に点在します。

イスラエル博物館では、グラフィック作品を中心とする800点あまりのピカソ・コレクションを所蔵しています。同館のピカソ・コレクションがまとめて紹介されるのは、**日本初**のことです。今回のピカソ展では版画作品を中心とした選りすぐりの作品、約**130**点をご紹介します。

■ピカソの初期から晩年までの作品を年代順に紹介

天才ピカソが歩んできた創作活動の全容を知る

ピカソの作品は、彼と関係の深い人物にインスピレーションを受け制作されたものが多数を占めます。とりわけ、作品モデルを務めた恋人たちとピカソの関係は、彼の想像力をかき立て、作風の変化をもたらしています。**ピカソの初期から晩年までの作品**を年代順に紹介することで、彼の創作過程を一望できる貴重な機会となります。



《座る女》 1949年 油彩 / カンヴァス
Gift of Alex Maguy, Paris
Photo © The Israel Museum, Jerusalem, by Elie Posner

■様々な版画技法を追求するピカソの果てしなき探求心に迫る



本展では、ピカソの創作活動を語る上で重要な4つの版画シリーズを紹介します。完全版となる〈サルタンバンク・シリーズ〉(1904-05年)に、〈ヴォラール連作〉(1930-37年)、そしてピカソの代表作ゲルニカを予告させる作品《フランコの夢と嘘》(1937)、87歳で制作したエロティックな〈347シリーズ〉(1968年)まで、ピカソの版画への造詣や探求心とともに、版画における多様な表現をご覧ください。ひらめくアイデアと果てなき表現で、20世紀を生きた天才ピカソの世界をお楽しみください。

左)《夜、少女に導かれる盲目のミノタウロス》〈ヴォラール連作〉より 1934年
エッチング、ドライポイント、スクレイパーをかけたアクアチント
Gift of Isidore M. Cohen, New York, to American Friends of the Israel Museum
Photo © The Israel Museum, Jerusalem, by Elie Posner

右)《大きな頭部》1962年 カラー・リノカット
Gift of Georges Bloch, Zurich
Photo © The Israel Museum, Jerusalem by Avshalom Avital



みなさまへのお願い

お盆期間、
会期末は
混み合います

会期末は混雑予想。早めのご来館がベスト

会場内混雑を避けるため、WEB事前予約制を導入しています。
会期末はご予約が集中するので、早めのご来館をオススメいたします。

展示室は作品保護のため少しひんやり。羽織るものがあると安心！

本展では、作品保護のため、気温が20℃前後に設定されています。季節柄、薄着でご来館される方が多いと思いますが、ご心配な方は羽織るものをお持ちください。

A4サイズを超えるお荷物は持込できません。

大きなお荷物は、コインロッカーへ

ピカソ展会場には、作品保護のため、A4サイズを超える大きさのお荷物のお持込ができません。
大きなお荷物はコインロッカーにお預けください。

作品保護のため、
ご協力をお願いします